

1.接続しよう

パソコンに接続します

※Windows/パソコンでセットアップを行う場合には、管理者権限でログインしてください。

手順.1

本製品のモード切替スイッチを設定します。(右記[モード切替スイッチの説明]参照)

手順.2

本製品に添付のUSBケーブルをつなぎます。

手順.3

添付のACアダプターを本製品と電源コンセントにつなぎます。

手順.4

本製品の電源を[ON]または[AUTO]にします。

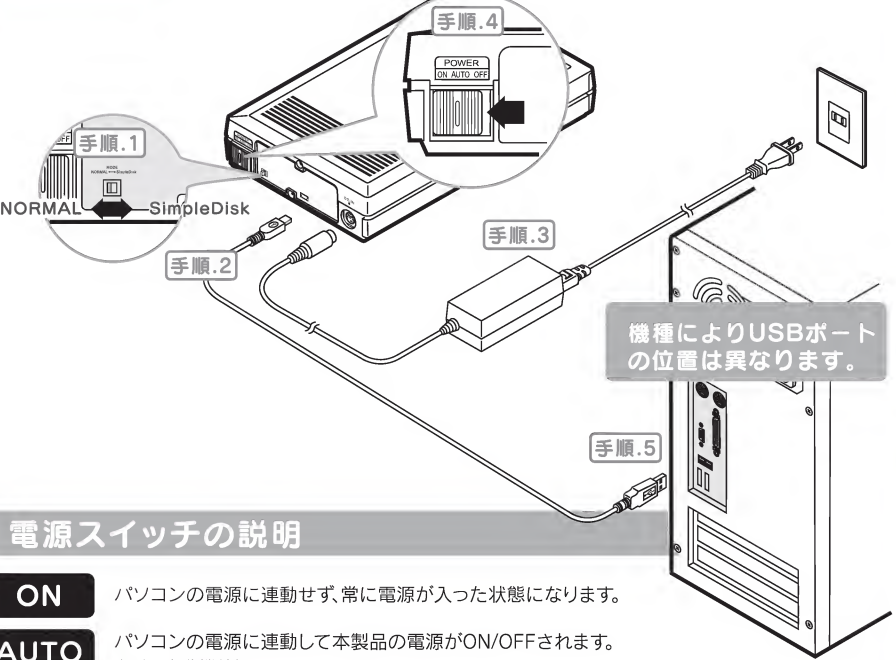
手順.5

パソコンのUSBポートにつなぎます。
本製品はOSに標準で搭載されているドライバを使用するため、ドライバをインストールする必要はありません。

注意 本製品をUSB 2.0で動作させるには、USB 2.0インターフェイスに接続する必要があります。

モード切替スイッチの説明

NORMAL ノーマルモード：通常のBlu-ray Discドライブとしてお使いいただくことができます。(出荷時設定)
SimpleDisk シンプルディスクモード：Mac OS環境にて ソフトレスでBD-REメディアにデータを書き込むことができます。



電源スイッチの説明

ON パソコンの電源に連動せず、常に電源が入った状態になります。
AUTO パソコンの電源に連動して本製品の電源がON/OFFされます。(電源連動機能)
OFF パソコンの電源に連動せず、常に電源が切れた状態になります。

正常に使用できるかを確認します

▼Windowsの場合

Windowsを起動して[マイコンピュータ](または[コンピュータ])を開き、本製品のドライブアイコンが追加されていることを確認します。アイコンが追加されれば、本製品をご使用いただけます。



↑(画面例:Windows XP、メディア未挿入、Fドライブとして認識している場合)

注意 ●ドライブ文字(番号)は環境によって異なります。
●ドライブ名称は挿入されているメディアにより異なります。(例:Windows XPで空のDVD-Rメディアを挿入すると「CD-ROM」と表示されます。)

▼Mac OSの場合

Mac OSを起動し、フォーマット済みメディアを挿入します。デスクトップ上に本製品のアイコンが追加されていることを確認します。アイコンが追加されれば、本製品をご使用いただけます。

Macintoshの場合、フォーマット済みのメディアを挿入するまでデスクトップにアイコンが表示されません。

アイコンの追加を確認



2.取り外し手順を覚えよう

OS起動中に本製品を取り外す手順

▼Windowsの場合(画面例:Windows XP)

手順.1

画面右下にあるタスクトレイのリムーバブルツールをクリックします。

手順.2

本製品の表示をクリックします。

複数のUSB機器を接続している場合は、ドライブ文字(番号)で判断してください。(画面例:Eドライブの場合)

手順.3

メッセージを確認します。

(Windows XP以外の場合は[OK]をクリックします。)

手順.4

パソコンから本製品のUSBケーブルを取り外し、本製品の電源を切ります。
ただし、電源スイッチが[AUTO]の場合、自動的に電源が切れます。(Windows Vista™ではパソコンからUSBケーブルを抜くまで、電源は切れません。)

▼Mac OSの場合

手順.1

ドライブアイコンをクリックします。

手順.2

[ファイル]メニューから[⋯の取り出し]をクリックします。

[⋯]にはメディアを初期化した際に任意でつけた名前が表示されます。(右記[4.使ってみよう(Mac OSの場合)]手順.5参照)

手順.3

トレイが開きますので、メディアを取り出し、トレイを閉じます。

手順.4

パソコンからUSBケーブルを取り外し、電源を切ります。
電源スイッチが[AUTO]の場合、自動的に電源が切れます。

MEMO

電源連動機能とは？

パソコンの電源のON/OFFに連動して、ドライブの電源がON/OFFされる機能です。ただし、添付のケーブルを使用し、ドライブの電源が[AUTO]の状態の時のみ有効です。この機能により、パソコンの電源を切ると同時に、ドライブの電源も切れます。また、次回パソコンの電源を入れたと同時に、ドライブの電源も入ることで手順が省けます。



注意 電源連動機能により、本製品の電源スイッチをAUTOにした時点では本製品のPowerランプは点灯しません。起動済みのパソコンに接続するとPowerランプが点灯します。電源連動機能切るには、電源スイッチをONまたはOFFにします。

縦置きにする場合

手順.1

添付の縦置きスタンドの裏に、添付のゴム足を4枚貼り付けます。

手順.2

イジェクトボタンが下になるように立て、縦置きスタンドを本体に取り付けます。

手順.3

イジェクトボタンが上になるように縦置きにします。

横置きにする場合

ドライブの底に添付のゴム足を4枚貼り付けます。

注意 ●本製品にメディアを入れたまま移動したり傾けたりしないでください。本製品やメディアを破損します。
●縦置き時、8cmメディアは使用できません。

3.その他

こんなときには？

アイコンが追加されていない場合

- [表示]メニューの[最新の情報に更新]をクリックしてみてください。(Windowsの場合)
- ケーブルの接続が正しく行われていることをご確認ください。(パソコンの電源を切り、再度ケーブルを抜き差ししてください。また、別のUSBポートに挿し直してみてください。)
- 添付のDVD-ROMに収録されているQ&Aの「本製品をパソコンに接続しても認識しない(本製品のアイコンがマイコンピュータ(またはコンピュータ)に表示されない)」をご参照ください。(Windowsの場合)

「新しいハードウェア」画面が表示されたまま消えない場合(Windowsの場合)

[キャンセル]ボタンをクリックし、ケーブルをパソコンから取り外します。パソコンを再起動して、取り外したケーブルをパソコンにつなぎます。

Windows Vista™でユーザーアカウント制御の画面が表示された場合

[続行]ボタンをクリックしてください。



「取り外しができない」という内容のメッセージが表示された場合(Windowsの場合)

使用しているソフトウェアをすべて終了してから、取り外しをおこなってください。
※それでも同じメッセージが表示された場合、パソコンの電源を切ってから本製品を取り外してください。

その他ご注意

- ケーブルを抜くときは、ケーブル部分を引っ張らないで、コネクタを持って抜いてください。
- 一部のウイルス対策ソフトがインストールされている場合には、動作が不安定になる場合があります。
- 本製品は、パソコンの省電力機能には対応しておりません。
- 本製品を長時間使用した場合は、一旦メディアを取り出し数分おいてから書き込みを行ってください。

4.使ってみよう(Mac OSの場合)

BD-REにドラッグ&ドロップで書き込んでみよう(SimpleDiskモードで使う)

最初にメディアを初期化します。
大切なデータがある場合は、あらかじめバックアップを取っておいてください。

Macintoshでの動作環境について

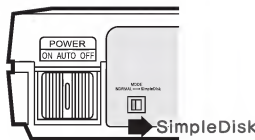
対応機種	ブルーレイ ディスク Blu-ray Disc/DVDデータ書込時
対応OS	USB 2.0ポートを搭載したMacintosh※1 Mac OS 10.2.8以降※2

※1 Macintosh用ソフトウェアは添付しておりません。(添付のライティングソフトウェアはWindows用です。)
※2 ノーマルモードで使用する場合は、別途ライティングソフトウェアをご用意ください。弊社では以下のソフトウェアにて動作確認を行っております。
・iLife '06
・Toast 8
なお、動作確認に関するお問い合わせは弊社までお願いします。また、各ソフトウェアの操作に関するお問い合わせは、ソフトウェアメーカーまでお願いします。

手順.1

本製品を[SimpleDiskモード]でパソコンに接続します。

※左記[1.接続しよう]参照



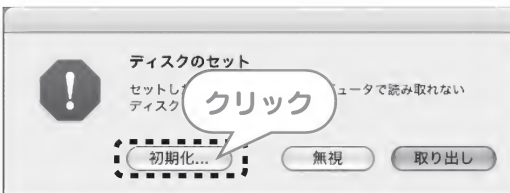
手順.2

ブランク(空)のBD-REメディアを本製品に挿入します。



手順.3

[ディスクのセット]ダイアログが表示されますので、[初期化]をクリックします。



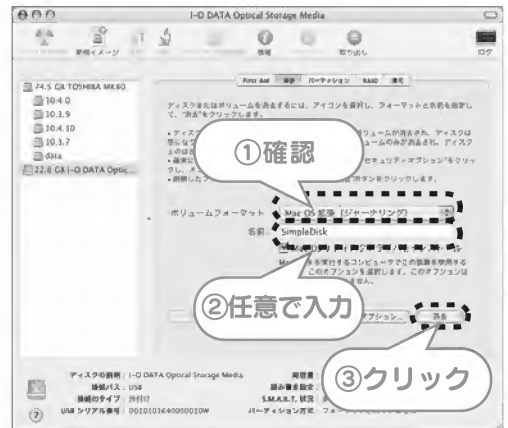
手順.4

[ディスクユーティリティ]画面が表示されますので、左側にある[I-O DATA Optical Storage Media]をクリックし、右側の[消去]タブをクリックします。



手順.5

[ボリュームフォーマット]が[Mac OS 拡張(ジャーナリング)]になっていることを確認して、任意で[名前]を入力し、[消去]をクリックします。



手順.6

消去が完了すると、デスクトップにドライブのアイコンが表示されます。以降はUSBメモリ等と同様にドラッグ&ドロップでデータを書き込むことができます。



こんなときには？

SimpleDiskモードで使用していたメディアを挿入しても、デスクトップにドライブのアイコンが表示されない

本製品を[ノーマルモード]でパソコンに接続している場合、[SimpleDiskモード]で使っていたメディアを挿入しても認識されません。
[SimpleDiskモード]にてご使用ください。

SimpleDiskモードで消去できない

Windowsで使用していたBD-REメディア(UDF)は、SimpleDiskモードで消去することはできません。一旦Windows環境で消去してください。

Windowsの場合

本紙裏面をご覧ください

本紙裏面

Blu-rayを使ってみよう

をご覧ください。



1 添付のDVD-ROMを本製品に挿入します。

2 メニューが表示されたら[BRO-U]シリーズをクリックします。

3 [インストールする]をクリックします。

4 インストールしたいソフトをクリックします。

5 表示に従ってインストールを進めます。

6 インストールが完了します。(再起動が必要な場合があります。)

※ Windows Vista™でユーザーアカウント制御の画面が表示される場合は、[許可]をクリックしてください。

※ WinDVD :
 ● B's Recorder GOLD9 BASIC :
 ● B's CLiP7 :



こんな時には…
■ 下記のようなメッセージがでた…



⇒ 初めてBDメディアを使う場合には、メディアの初期化が必要です。
[OK]ボタンをクリック後、次の手順で初期化をおこなってください。

1. [ディスクの初期化]をクリックします。
2. [OK]ボタンをクリックします。
3. [OK]ボタンをクリックします。

9 [書き込み]をクリックし、書き込みを開始します。



完成!



困った時には…
添付DVD-ROMのメニューより [Q&A]をご参照ください

それでもわからなかったら…
ユーロード テクニカルサポート
045-226-1966
受付時間 10:00～12:00/13:30～17:30
月～金曜日(土・日・祭日・有休日を除く)

てっとり早く データDVDをつくってみよう

- 1** B's Recorder GOLD9 BASICを起動します。

- 2** 表示されるメニューから [データCD/DVD] を選択します。

- 3** 上段で保存したいデータを
選択して下段にドラッグ&ドロップします。

- 4** メディアを本製品に
挿入して[開始]を
クリックします。

- 5** 書き込みを開始します


ここではB's Recorder GOLD9を利用して、DVDメディアにデータを書き込む手順を説明します。

てっとり早く
デスクトップ上やエクスプローラから直接ドラッグ&ドロップすることもできます。

こんな時には…
 ■DVD+R/-R/-RWメディアを挿入したら下記のようなメッセージが出た…

 →DVD-RWのメディア

- 後でデータを追加して書き込む場合
 [追記可能な状態で書き込む]にチェックを入れて[OK]をクリックします。
- 書き込み後にデータを追加する予定がない場合
 [互換性を重視し再起不可能な状態で書き込む]にチェックを入れて[OK]をクリックします。

困った時には…
 添付DVD-ROMのメニューより[Q&A]をご参照ください

それでもわからなかったら…
 ティニエールサポートセンター **06-4861-8234**
 受付時間：10:00～12:00/13:00～17:00
 月～金曜日(祝日を除く) ※ティニエール社の休業日を除く

- 音楽機能を無効（オフ）にしていない場合、無効（オフ）にして書き込みを行うと、書き込みに失敗する場合があります。
- マルチセッション（マルチチャプター）セッション単位でデータを追記することを。記録したセッションの使用済み容量を知りたい場合は、[B'S Recorder GOLD]のメディアメニューの「情報」を選択してください。エクスポートされたファイルはメニューの「プロパティ」を選択すると表示され、「使用領域」には、OSの仕様に「1」番最初のセッションの容量が表示されます。
- 1つ DVD-Rメディアにマルチセッションで書き込みを行った場合、他のドライブは最初のセッションのみ読み込むことができます。
- 2つ DVD-Rメディアに[B'S CLIP]で書き込みを行った場合は、他のドライブで読み込むことはできません。
- 一度も書き込みに失敗した DVD+R/RW/CD-Rメディアは使用しないでください。正常に動作しない場合があります。また、書き込みに失敗した DVD+R/RW/RAM-Record メディアは[B'S Recorder GOLD]を使用して、いったんデータを消去した後にご利用ください。
- いったん[B'S Recorder GOLD]と本製品で書き込みを行ったメディアに追記する場合は、必ず[B'S Recorder GOLD]と本製品を使用してください。

また、いったん[B'S CLIP]と本製品で書き込みを行ったメディアに追記する場合は、必ず[B'S CLIP]と本製品を使用してください。

- 一度[B'S CLIP]でフォーマットした DVD+R/RW/RAM-Record メディアを再びフォーマットする場合は、[B'S Recorder GOLD]や「Erase」メニューの「強制フォーマット」を選択してください。
- [B'S Recorder GOLD]にコピーしきれない場合は、本紙面に「複製メディア」欄にてご案内しております。メーカー製の CPRM 対応 DVD-R/RW を DVD+R メディアでご利用ください。
- ハードディスクにいったんデータを書き込んでから、メディアへの書き込みを行う場合、書き込みファイルと同じサイズの空き容量がハードディスク上に必要です。
- [B'S Recorder GOLD]のエラー回避機能のチェックを外さないでください。
- [環境設定]→[ドライブ設定]→「高度なドライブ設定」で、「転送速度エラー回避機能」を ON にしないでください。
- ドライブ回避機能が常時 ON になっているドライブでは、「高度なドライブ設定」のボタンは表示されません。
- 他の CD/DVD ドライブを読み込み元ドライブとして使用する場合は、CD/DVD ドライブの場合は、読み込み元ドライブ（コピー元）としてご利用いただくことができます。その場合は本製品を読み込み元ドライブとしてご利用ください。
- コピー エッジ - エッジ対応の有無をお問い合わせください。
- 音楽データを書き込んだ CD-R/RW データを再生するには、再生する CD プレーヤーが CD-R/RW メディアに対応している必要があります。
- Windows 2000 でお使いの場合には、ドライブのデジタル CD 再生を無効にしないでください。
- 本製品は[B'S Recorder GOLD]の[HDD/バックアップ機能]には対応しておりません。
- [B'S CLIP]は CPRM に対応しておりません。

この製品またはソフトウェアは、あなたが著作権保有者であるか、著作権保有者から複製の許諾を得ている素材を制作する手段としてのものです。もしあなた自身が著作権を所有していない場合、著作権保有者から複製許諾を含む補償義務を負う場合があります。御自身の権利について不明確な場合は、法律の専門家にご相談ください。

本製品は、日本の地域コードである「2」に設定されています。ソフトウェアDVDプレーヤーなどで他の地域コードに設定した場合、弊社では保証いたしかねます。